

37分後、 緊急発進。

一刻も早く。



仙台空港から緊急発進する
大型防災ヘリコプター
「みちのく号」
2011.3.11 PM3:23

防災ヘリからのライブ映像が、早期対応の判断材料に。

巨大津波は仙台空港をも呑み込んだ。だが、その直前、国土交通省 東北地方整備局の防災ヘリ、「みちのく号」は飛び立っていた。地震発生の直後、民間航空会社の乗員は格納庫の壊れたシャッターを切断し、テイクオフに備えた。そして国土交通省東北地方整備局からの指令を受け、地震発生から37分後に飛び立った。ヘリから送られてくるライブ映像は、想像を絶する巨大津波をとらえ、衝撃的な被災状況を伝えた。この情報が、真っ先にすべきは救命、救援ルートの確保、という判断をもたらした。



巨大津波に覆われる
仙台空港
2011.3.11 PM4:17